



# ぬれえんの 屠眠り日記

有川しりあ



## ★ 操作方法 ★

ページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。

# ぬれえんの居眠り日記

有川しりあ

今日の散歩は



ぬれえんはお向いのタビ子のお気に入りじゃ

なにやら寝ごとを言つとるぞ

猫のやつも夢を見るんだなあ

さて



またこの峠に出てしまったわい...

あまり行かんコースにしようかの



やあ!  
やはり!  
ここは...

畑地もあるが古墳にも見えるんだなあ

だんだん畑になつとるめずらしい遺跡だと思ふんだが...

なぜ、発見されんのだろうかの...



あのような場所この辺にはあるまいか



なんじゃ... 夢かあ...?!



わしもうたた寝をしてしもたな

体が冷えてコチコチじゃ



柚子は食わんのか? 食いものないこの時期でも

今宵は柚子湯にするかの



公園でも  
見かけん

野鳥は本能で  
こころいも  
さけておる  
のか？

かつての炭坑の  
カナリヤのように

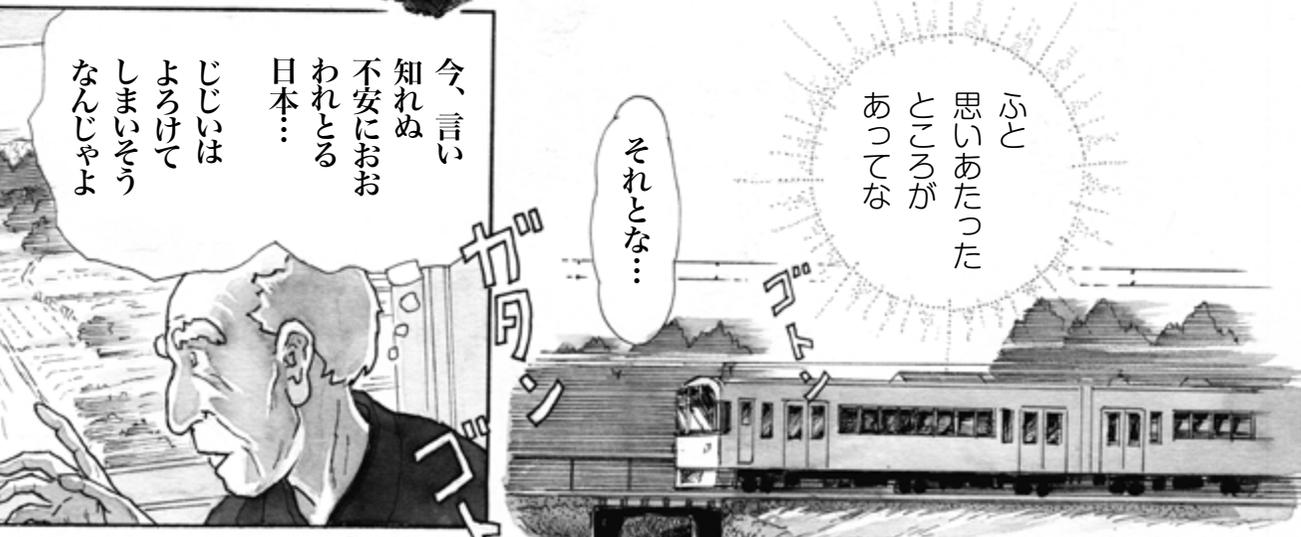


わしは久々に  
遠出を  
きめた

それとも  
もつと南で  
越冬してあるのか？

おや...？梅の花の  
いざいかの

あの夢の  
風景に  
ついてな



ふと  
思いあたった  
ところが  
あつてな

それとな...

今、言い  
知れぬ  
不安におお  
われとる  
日本...  
じじいは  
よろけて  
しまひそう  
なんじゃよ



今夜も  
木枯しか...

おお  
そうじゃ

ガラガラ

あのだんだんの  
古墳の夢はな  
幾度か  
みたことが  
あるんじゃ



降った雪も  
日陰では  
なかなか  
とけなかつた

今年の冬は  
寒く冷たい  
日がつづいた

くり返し  
夢に出るといふのは  
なんじやろうなあ...



うむ、  
良い香りじゃ



冬鳥が  
来んなあ

去年は  
キツツキの仲間や  
ツグミ類が  
来とつたのになあ...

心身の  
鍛錬を  
しなのおさねば  
……

あいにくの  
曇大じゃ

朝方は  
晴れ間も  
あったのだが  
……



ひょうが  
空気が  
冷たい  
のう……

元気で  
おれば  
やっかいも  
かけまいよ



急に冷えて  
きたな

おや……



しまったなあ  
上の方は  
みごとに  
雪が残っ  
とるわ

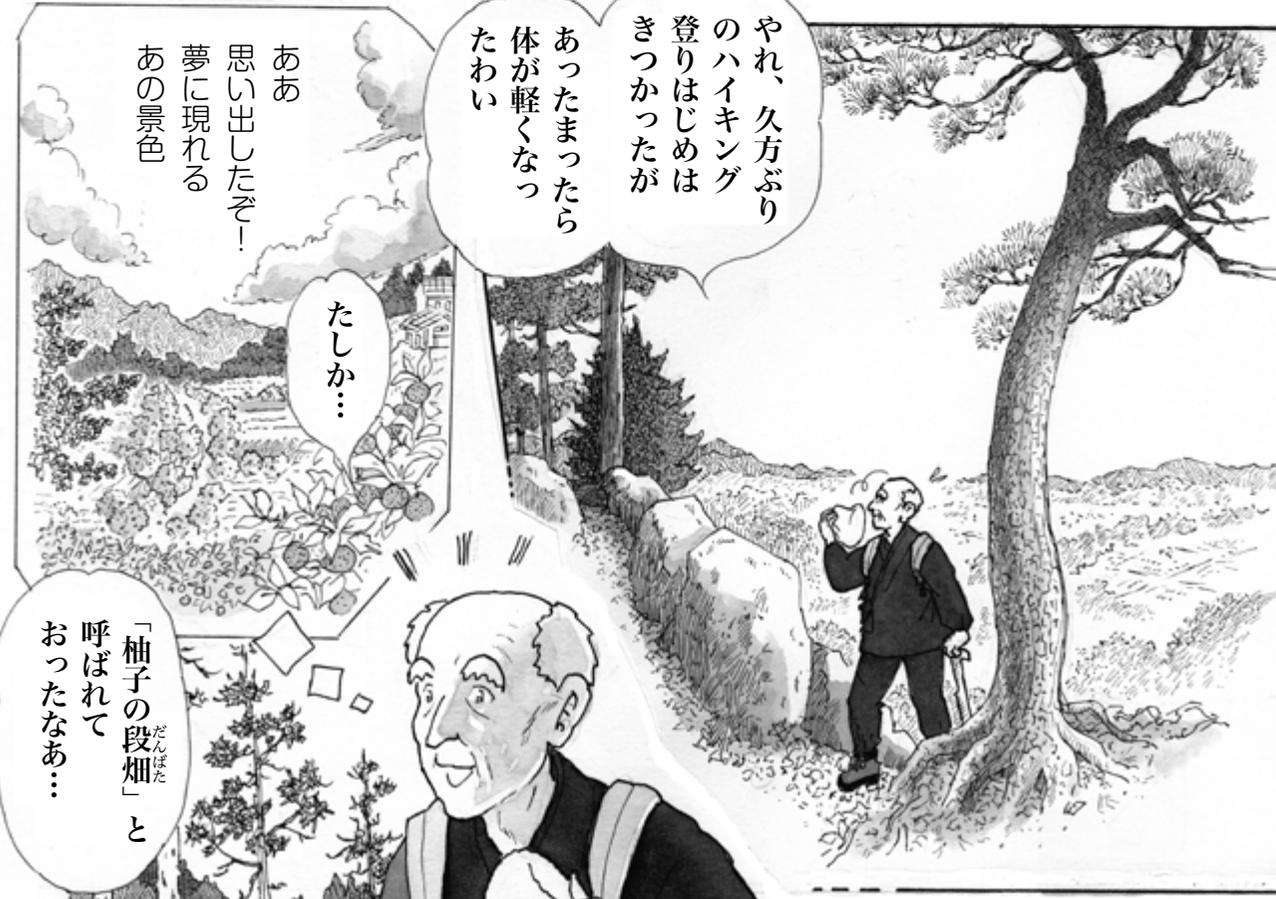


あやや……

たぬが  
はやった  
か?!

やれ、久方ぶり  
のハイキング  
登りはじめは  
きつかったが  
あったまったら  
体が軽くなっ  
たわい

ああ  
思い出したぞ！  
夢に現れる  
あの景色



たしか……

「柚子の段畑」と  
呼ばれて  
おったなあ……



日陰は  
カチカチじゃ

引き返すか?!

いや!!  
南斜面を  
回ってみる  
かの



当たりじゃ!!  
ほうくれ  
あらかた  
とけている

岩場が  
ちと やっかい  
だが……

やあ!  
汗をかくのは  
気持ちがいいものだな





だが  
わしは



そうかね  
あなたも  
お気をつけて

いやはや  
女性のパワーには  
感服じゃ

この婦人も  
こんな時期に  
ひとり  
山歩きとは…



あ  
おじいちゃん  
下の道は雪が  
ありますよ  
尾根をまわった  
方がいいわね



イノシシ  
なんかと  
まちがえて  
ハイカーを  
撃たぬよう  
ハンターに向けて  
書かれたものか

ハイカーに  
注意!!



そうか…



ありや



このあいを  
みて  
下に降りた

柚子の集落は  
山陰にあった  
からな



しかし…  
山のてっぺんの猫は  
食つてしまつた  
昨日  
山に食いものがなく  
里に降りてくる熊は  
たくさん  
撃ち殺される



わしは  
見逃しの良い  
屋根すじに  
戻った  
雪も残つて  
おつたし…

なんとなく  
しゃくに  
セわるわい

おかしな  
世の中じゃ



やほひじゃー!  
こんな所に  
猫がおる!

あら  
ここにちわ  
ここにちわ



や



おう!  
じいにも  
山や森が力を  
くれている  
ようじゃな

ん  
おや猫?  
まさか…



どこか  
山小屋の  
猫かしらね  
ここのは…  
ほう  
そうですかね

よう  
肥えとる



あちらの  
峰にも猫が  
いますよ  
そこは  
ふもとから毎日  
おぼちゃんが  
エサを運ん  
でるんですよ  
公園など  
ではエサを  
やっている姿を  
よく見かけ  
るが…



それは  
すごいなあ

雨の日も  
嵐の日も  
雪の日も  
ですよ



冬期は  
やって  
ないけど

しかし…  
この女のかっこうは  
…なんだ?!

あ…  
こいつは上の  
売店の犬なの

や、やあ  
犬の散歩  
かね?



だんだん  
記憶がよみ  
がえってきたぞ

ここには  
十軒ほどの  
集落が  
あつたはず  
だが…

手入れされずに  
育つた細い杉  
ばかりのお山は  
どうなってゆくのか?

や…こんにちは

こんにちわ?



ぬ

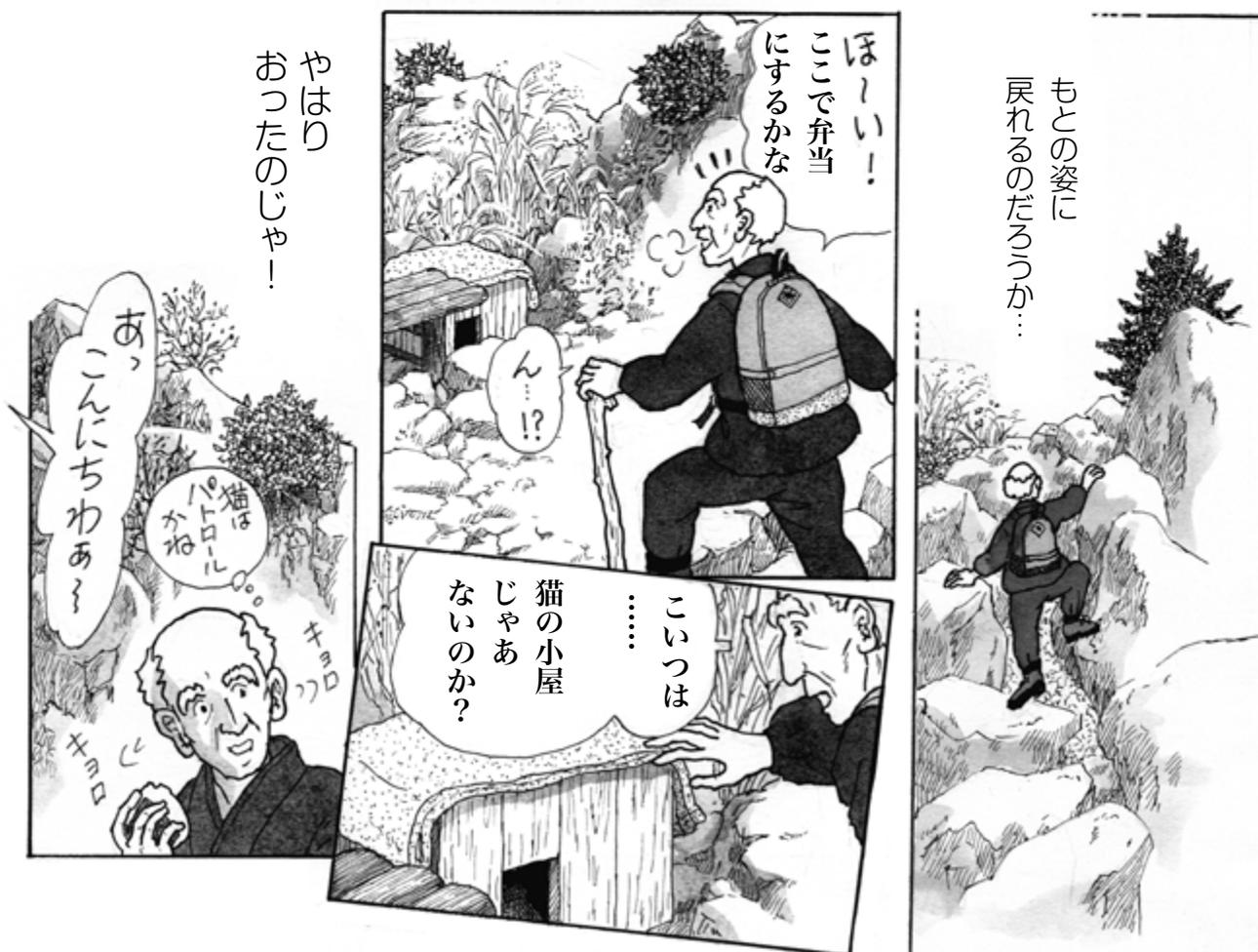
正直…わしは  
その犬に 気おされた!!



わあ  
おまえも  
来てくれ  
たの?!



あ…おう!!  
なんと  
デツカイ  
ゴマ犬  
なんだ!



もとの姿に  
戻れるのだろうか…



ほーい!  
ここで弁当  
にするかな



こいつは  
猫の小屋  
じゃあ  
ないのか?



あ、  
こんにちわあ

猫は  
パトロール  
かね

やはり  
おつたのじゃー!

その大犬は  
わしらは  
少し距離を  
とって歩み



あの子は  
二ヶ月の  
ボスよ

姉さん  
野性動物  
にエサやちや  
ダメだよ

あちらを  
向いて座った

そやつは…  
自分の犬の  
いや 我々をも  
見はって  
いるように  
見えた



ボスか  
なのか

この子ったら  
野生動物  
だってえ〜?!  
ね〜え

だて…  
ものけ嬢に  
出てモ  
どうしー

いや  
この犬たちは

町中の犬とは  
ずいぶんと  
様子がちがう  
ようじゃあ  
ないかな



わしには  
この若い子らも  
含めて野性的に  
思えるなあ…



じいには  
ちりと  
まぶしいぞ

見はらし台  
に行くの?!

登りの  
急斜面は  
カッチカチで  
まじやバイわよ



うちらは  
途中から  
この子が  
現われて  
雪の少ない  
小道を案内  
してくれて  
助かったの



おや…  
なん  
じゃ



ウオッフ  
ウオッフ

ほくら  
こいつも  
行くなつて  
いってる  
のよー



あさつての  
方向を向いて  
吠えとるが…  
そうなのか



ありが  
とな

そつじやな  
おおせに従い  
じいも 今日  
下山するかの





犬は  
歩みののろい  
人間どもを  
立ち止めては  
待って

時おり  
うながすうちに  
吠えた

おじいさんって  
仙人みたい



こんな小道  
うちらだけじゃ  
わかんないよね



ボス犬は  
頂上から  
動かなかつた  
そこにいながらも  
『オシはずべてを  
掌握しているぞ』と  
いったところか



氷が  
凍る!!



まあ  
年の割  
には達者  
かもしれんな

そうか  
君たちは  
山ガールと  
いうのか  
聞いたことが  
あるな



なるほど!  
笹の下の  
地面は  
乾いて  
おるわ!



おまえも  
おいで  
よー

わさお  
は来ない  
わよ



ここは  
いっきに  
下った方が  
いい!



おの  
ちよっと  
待って!!



君らは  
よく  
来るのかね?

うん  
わりと  
地元だし



わさお  
おじ  
さん  
は  
い  
い  
ね

この子と  
いると  
なんだか  
気持ち  
が楽  
になるよ

おや...  
こは陽がさしてきたな



いきなり！  
里に降りた  
感じで  
あった！  
太陽も顔を出した！



この水場  
見覚えが  
あるぞ！

い、いや  
すまん  
ここへは  
来たことが  
あったよう  
でな…

うちらでも  
忘れちゃうこと  
たまにあるしー



そうかの

あ、そのな  
驚きはしたが

なにかもの  
とらえ方が  
男性的と感じて  
おったから

がてんが  
いったというかな  
……



君がいて  
くれて安全に  
下山できたと  
思っている  
んだよ



もちろん  
このワンコにも  
感謝 感謝じゃ



足場は  
乾いて  
るから

おう、ここと  
そこに足をな

だいじょうぶが  
じいさんなら  
できる☆



いやはや  
助かった  
……  
君は  
そんな靴で  
俊敏によく動く  
男子顔負け  
じゃな

あ、そのな

わしは  
その風景に  
とらわれていた



おや?!  
この泉…

あたし  
男の子  
だからね

ほ…?!  
そうなのかね…

なに、なんで  
ここで  
カミング  
アウト?!

リョウ  
ウスイ



ほう…  
人界とな？

人界の  
においが  
やなのかも

あんなの  
いうほどの  
おきがくせい。



そうじゃな…

里に降りると  
にごった空気が  
ただよっておるよな

だが、ホッとする  
気持ちにもなるが…



山ガールとは  
中々良い表現を  
するなあ…

あのね

ここ上ったとこに  
ココアのおいしい  
お店があるの  
おじいさんも  
行かない？



犬は  
振りかえらなかつた

山のオキテ  
って感じ



山に向って  
全速力で  
かけて行つた

犬は突如  
きびすを返すと

ナワバリは  
ここまで  
なんじゃない？

無事送り  
届けて 任務完了  
つてところかの

なんんか  
きびしい



犬はもう  
先に行く  
ことはなく  
たわむれている  
様子に見えた

だが…

あれ?!  
急に  
止つたよ

あ…



あ…いや  
わしは  
ここで



姉さんが  
へんな  
タイミングで  
シヨーゲキ発言  
すつからー



そうじゃあ  
ないよ  
わしは  
地元では  
ないから  
あまり遅く  
ならんうちに  
思つてな



いゃ…？



おう  
そんなことより  
いくら  
元気でもな  
も少し装備を  
ととのえては  
いかなかな



いつも  
いってるん  
だけどー  
はっ！  
こじゃぞ  
ありました



また  
会おう  
仲良し  
姉妹さん  
おう！



あつ  
うちら  
幼なじみ  
なんだけど…  
近所の  
親友  
だよ  
おや  
そうだった  
のか



親友…  
なの…  
…か？



いや…  
本日じじいは  
びっくりすること  
ばかりじゃ  
じゃ  
気をつけて



またね！  
おうよ  
またな



若い人たちも  
通ずるものが  
あるんだなあ



コロマとやひの  
お誘いは  
うれしいかぎりだが  
じじいの気あくれが  
また孤独を  
えらんでしまったな…



なあんと まあ  
数十年ぶりに  
見つけたわい

やあやあ  
白菜やら  
小松菜が育っ  
ておるなあ

こんな  
駅寄り  
だったんじゃ!!

お・おじいさん  
浮かんでるよ

ぬ

!!!



おや...  
ここいらは  
自然公園と  
なっているのか

近くの皆で  
田んぼやら畑を  
耕しとる  
ようだな



おおっ!!  
やはりそうじゃ

お...

おおっ!!



この辺りの  
子らは  
なんと幸せな  
ことか

ぞん...



だんだんの  
古墳の地形に  
似ているぞ!!

お・おや...?!  
こ・こは...?!



かわりに  
夢の古墳に  
導かれた  
ごくくじやな

記憶にある  
柚子の段畑では  
なかったよのだが

うおっ！



心のお底ソコで  
気になっておるから  
夢に現われるん  
だろうが…



ま…  
ものごと  
得てして  
そんなもの  
なのかの



わしは  
夢のお告げ  
などとは考えん  
たちだな



いや…  
さても  
不思議な  
ものじやな



一瞬！  
わしは すいぶん  
上空から  
見おろしていた  
よつなのだが…



予期せぬ  
ことで  
たかぶつて  
おるよう  
だな  
深呼吸  
深呼吸



はて…なる？

なに  
言っんのー  
またあ  
今！  
いたんだって？  
空に…  
えーこー？



おじいさん  
死んじゃった  
んじゃないよね  
んなわけ  
ないわよ  
あのじーさん  
そーとー  
修業系よ  
幽体離脱でも  
してたんじやなくい？



うるせえよ！



おう

少し空気が  
やわらいでいる  
ようだった



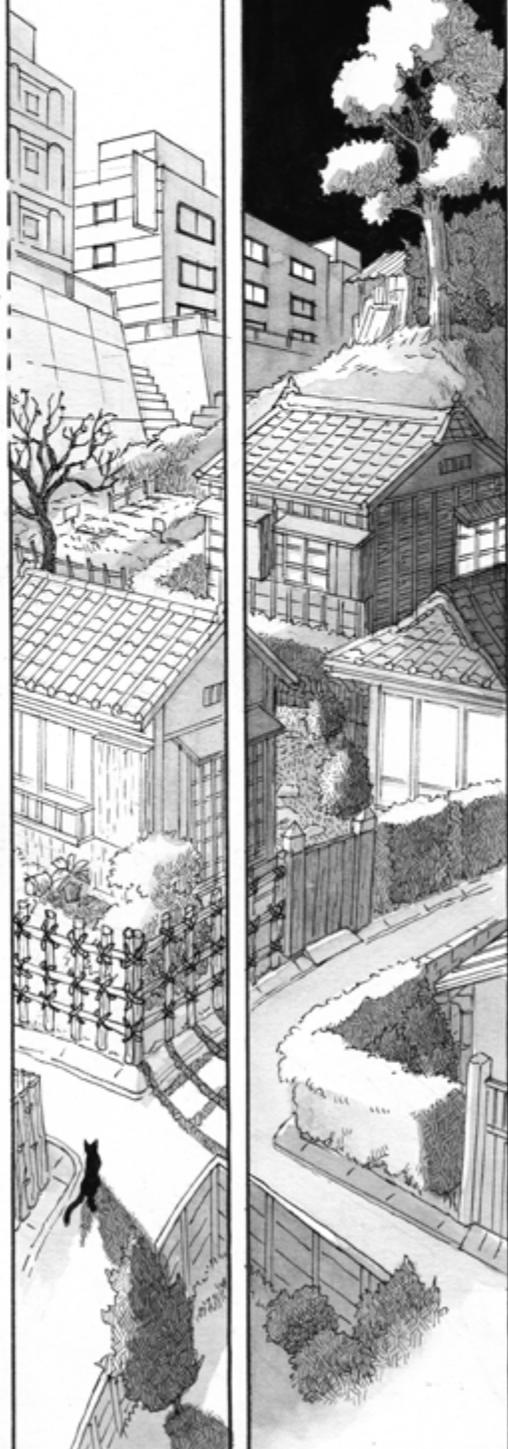
腹に  
良い力が  
もどった!

背すじも  
幾分伸びた  
ような気が  
するなあ



ちぎこまっつて  
おるとな  
どうも不安に  
とりつかれる  
ようじゃ

翌日の朝は—



夜半になって  
曇ったせいか

空はずっから  
暮れたが

今夜は  
足先が  
ポカポカじゃ



今日こそ  
キテレツで  
夢のような  
一日だったじゃあ  
ないか

猫のおばちゃん  
犬たちやらに  
仲良し美人姉妹  
皆に助けられ  
たな

ふふふ

ふた駅  
縦走した  
ことになる



お山の  
柚子も  
手に入った

香りが  
高いな  
です

さあ!  
じじいも  
なにかの役に  
たちたいぞ





夢を  
きっかけに  
また  
山歩きが  
できたのじゃ

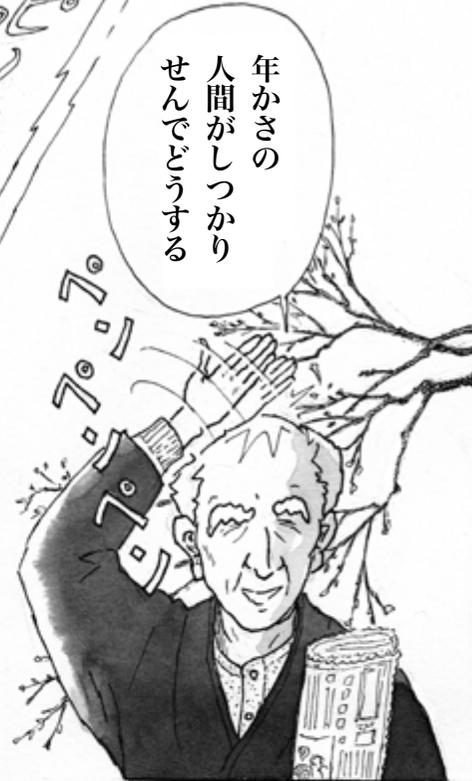


今、見るなら  
現在のことじゃあ  
ないのかね



せつかく  
この年まで  
生かされて  
おるのに…  
わしは  
怠慢であつた

おや  
レヨドリじゃ  
レヨは寝って  
采もあるな



年かきの  
人間がしつかり  
せんでどうする



さあさ、出かけよう  
じじいの小さな  
大冒険じゃな



これよりは



加えて  
印象深い  
夢のことも  
書き添える  
ことにした



なぜなら…  
昔なつかしい  
風景の夢  
とて



時おり  
散策メモを  
とっておいただが

思った  
ことボ  
あつたな

とて